

平成30年6月議会

Q 観光先進地と積極的に交流し参考にせよ？

A 観光先進地の情報収集を進め、交流していく

問

観光交流協会が発足したが、豊根村や南種子町のほか近隣市町村との交流に限られている。観光に力を入れている自治体との交流も必要では無いか

○村長

積極的に観光に取り組んでいる自治体を中心に情報収集を進め、職員を派遣するなど交流を深め連携をしていきます。

問

具体的にどのように交流をしていくのか。

○企画課長

ホームページ等で情報収集をした上で職員を派遣してヒアリングしていきたいと考えています。

問

私は、石川県輪島市の観光への取り組みが活発でよいと思うが、交流する相手方の選定はどのようにするのか。

○企画課長

ご教示いただいた団体については、今後の取り組みの参考としたいと思います。また観光資源の発掘はJTBに委託しており、専門家の意見を参考にして情報収集をしていきます。

要望

交流をはかることは大切であり、協会事務局には情報収集に努め、交流が進むことを期待します。

Q 友好都市と庶民レベルの交流を深めよ

A 宿泊費用の一部を補助する制度を創設する

問

現在友好都市との交流は物産などが中心になっている。一般村民レベルでの交流も必要と思うが村の考えは

○村長

現在は物の交流が中心となっています。

今後は草の根レベルの交流も必要と考えています。

相手の観光協会と連携をし、宿泊費用の一部を補助する制度を創設します。

問

具体的にどのような補助制度を考えているか。

○企画課長

現時点では1泊2千円程度の補助制度を検討しています。

問

南種子町は遠方なため2千円の宿泊補助のほか交通費補助も必要と思う。

○企画課長

まずは宿泊費の補助制度を構築した後、交通費に係る補助の妥当性を検討したいと考えています。

要望

観光交流協会が宿泊先を斡旋するなど、使いやすい制度にしていただきたい。